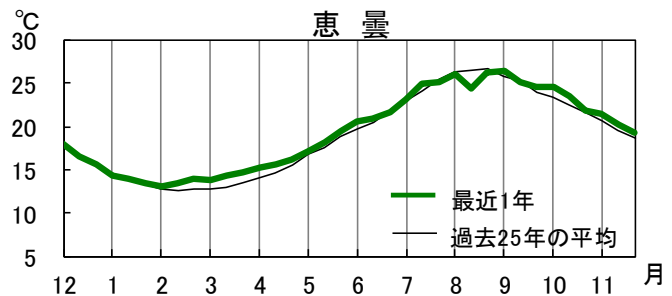
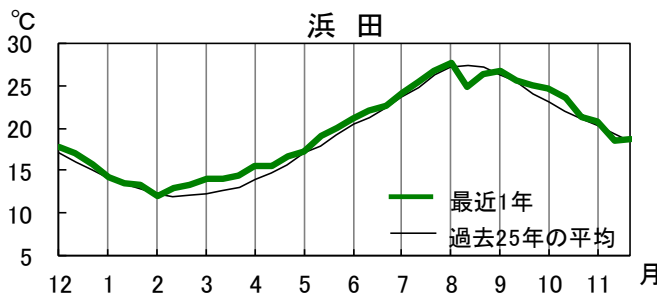




## 《11月の海況》



11月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	19.4℃	+0.04℃	やや高め	20.2℃	+0.5℃
中旬	やや低め			やや高め		
下旬	平年並み			やや高め		



## 《11月の漁況》

### 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の7割、マアジは平年の2割でした。隠岐地区ではブリ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は32.2トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは1,547トンで平年の1.1倍、サバ類は457トンで平年の4割でした。

### 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の99%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は15.8kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は56.6kgで平年を上回りました。

### 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアナゴ・ハモ類、キダイ、マダラが主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は16.1トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、アナゴ・ハモ類は平年の1.3倍、キダイは平年の9割、マダラは平年の1.4倍でした。その他、マトウダイは平年の2.2倍、マアジは平年の1.9倍、ヤナギムシガレイは平年の1.2倍と好調でしたが、アカムツは平年の1.0倍、アンコウ類は平年の6割、ムシガレイおよびソウハチは平年の5割の水揚げでした。

### 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アンコウ類、アナゴ・ハモ類が主体の漁況で、総漁獲量は354トンでした。1統1航海当りの漁獲量は1,091kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の1.2倍、アンコウ類は平年の1.0倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍でした。その他、マトウダイは平年の2.5倍と好調でしたが、アカムツは平年の8割、キダイおよびムシガレイは平年の7割、ニギスおよびヒレグロは平年の6割、マダラは平年の5割の水揚げでした。

### 【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、サバ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は26.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の1.0倍、サバ類は平年の5割、マアジは平年の1.0倍でした。石見地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は31.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の2.9倍、サバ類は平年の7割でした。隠岐地区ではウルメイワシ、マアジ、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は11.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ウルメイワシは平年の1.9倍、マアジは平年の7割、イサキは平年の4.4倍でした。

### 【釣・縄】

出雲地区ではカツオ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は28.7kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、カツオは平年の64.1倍でした。石見地区ではヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は23.8kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の2.0倍でした。隠岐地区では、クロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は24.8kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の1.9倍でした。

【令和3年11月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	ブリ、サバ類	2,868トン	95%	64%	32.2トン	111%	75%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	0.8トン	51%	5%	15.8kg	65%	26%	▲
	西郷	スルメイカ	0.4トン	2200%	20%	56.6kg	3771%	231%	◎
沖合 底びき網	浜田	アナゴ・ハモ類、キダイ、マダラ	241トン	76%	82%	16.1トン	86%	96%	○
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アンコウ類、アナゴ・ハモ類	354トン	90%	85%	1,091kg	105%	121%	◎
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、サバ類、マアジ	343トン	134%	77%	26.4トン	134%	75%	▲
	石見	マアジ、サバ類	124トン	162%	101%	31.0トン	162%	97%	○
	隠岐	ウルメイワシ、マアジ、イサキ	33.3トン	103%	51%	11.1トン	103%	51%	▲
釣り・縄	出雲	カツオ	23.0トン	115%	54%	28.7kg	138%	95%	○
	石見	ヒラマサ	31.0トン	126%	77%	23.8kg	134%	104%	○
	隠岐	クロマグロ	22.1トン	116%	91%	24.8kg	113%	106%	◎

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ  
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ  
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ